

会議名	平成30年度板橋区A I P推進協議会
開催日時	平成31年2月6日（水）14時00分～16時00分
開催場所	板橋区役所6階教育支援センター研修室A
出席者	<p>[委員15人]（敬称略） 木村会長（東京大学高齢社会総合研究機構） 吉野副会長（板橋区医師会） 粟田委員（東京都健康長寿医療センター） 今泉委員（板橋区歯科医師会） 保坂委員（板橋区薬剤師会） 藤原委員（板橋区柔道整復師会） 坂本委員（板橋区社会福祉法人施設等連絡会） 馬場委員（板橋区訪問看護ステーション会） 青鹿委員（板橋区上板橋地域包括支援センター） 石田委員（板橋区町会連合会） 竇田委員（板橋区民生・児童委員協議会） 浅井委員（板橋区社会福祉協議会） 廣瀬委員（ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし） 宇山委員（公募委員） 渡邊委員（板橋区健康生きがい部 部長）</p> <p>[行政関係職員9人] 長寿社会推進課長、介護保険課長、健康推進課長、赤塚健康福祉センター所長、志村健康福祉センター所長、おとしより保健福祉センター所長、赤塚福祉事務所長、国保年金課国保年金担当係長、住宅政策課住宅政策担当係長</p> <p>[事務局11人] おとしより保健福祉センター管理係長 おとしより保健福祉センター地域ケア推進係長 おとしより保健福祉センター介護予防係長 おとしより保健福祉センター介護普及係長 おとしより保健福祉センター認知症施策推進係長 おとしより保健福祉センター特別援護副係長 おとしより保健福祉センター地域ケア推進係4人 おとしより保健福祉センター認知症施策推進係1人</p>
会議の公開（傍聴）	公開（傍聴可）
傍聴者数	3人
次 第	平成30年度板橋区A I P推進協議会 1 板橋区版A I Pの現状と今後の取組みについて（説明・協議）

<p>配布資料</p>	<p>1 平成30年度板橋区AIP推進協議会委員名簿 2 資料1 重点事業の実施状況 3 資料2 板橋区版AIPの現時点での達成状況について 4 参考資料 (1)平成30年6月14日開催 地域包括ケアシステム調査特別委員会資料 (2)平成30年10月4日開催 地域包括ケアシステム調査特別委員会資料 (3)平成30年12月7日開催 地域包括ケアシステム調査特別委員会資料 (4)板橋区生活支援体制整備事業（各地域の様子） (5)We♥カラフルいたばし（板橋区生活支援体制整備事業）</p>
<p>議事内容</p>	<p>1 板橋区版AIPの現状と今後の取組みについて（説明・協議） 資料1をもとに、板橋区版AIPの現状と今後の取組みについて下記の事業を重点的に協議した。</p> <p>(1)通所型サービス事業（短期集中） （主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各事業について維持・改善・低下等、評価をすることが重要である。 ・短期集中の事業のため、終了後はそれで終わることなく、他の事業と絡める等して継続していくことが重要である。 <p>(2)顔の見える関係づくり（医療介護連携の体制） （主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報共有については、個人情報保護だけでなく、単にお互いに連絡を取りづらい等の問題がある。専門職の連携強化は、システム化だけではなく、地区ごとのネットワークの在り方を考える等、段階的に進めていく必要がある。 <p>(3)認知症初期集中支援事業 （主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり暮らしや高齢者のみの世帯、認知症の方が増えており、必要な支援やサービスに結びつかないことが問題となっている。地域の中で継続して生活することが出来るよう支援していく必要がある。 ・ひとり暮らしの認知症高齢者を支えるために、地域の中で生活支援の担い手（認知症サポーター）を育成していくこと重要である。 <p>(4)高齢者住宅設備改修費助成事業・都市型軽費老人ホーム拡大・サービス付き高齢者向け住宅の確保 （主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の供給が増えているため、実態把握が重要であり、高齢化のピークが過ぎた後のことも踏まえて計画していく必要がある。また施設は整備されているが、介護にかかわる職員の不足により空きが出ている状況もあるため、現状の把握と検証が重要である。 ・独居高齢者が増えているため、在宅だけではなく施設等も選択できるように情報提供をしっかりと行っていく必要がある。

	<p>(5)地域密着型サービスの整備 (主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療を進めていくうえで、定期巡回・随時対応型訪問介護看護は重要である。訪問看護ステーションを大規模化しないと24時間対応は厳しいため、それに対する支援策等を検討していただきたい。 <p>(6)シニアの社会参加及び活動支援 (主な意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・元気な高齢者が、ゴミ出し支援等により他の高齢者を助けることで、地域の中での関係が築ける。公的なサービスだけでなく、住民どうしがつながることで、AIPの構築が実現していく。
所管課	健康生きがい部おとしより保健福祉センター地域ケア推進係 電話：5970-1114